慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	「續福澤全集」所收福澤書翰一通の發信年の確認
Sub Title	
Author	會田, 倉吉(Aida, Kurakichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1955
Jtitle	史学 Vol.28, No.2 (1955. 9) ,p.118(250)- 118(250)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白錄
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19550900-0118

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

絡み合はせて、深く追究するに價ひする課題であると思ふが、本稿は、それに先立つ時期を扱つたのであり、その後の過程の極めて概觀的な經過を附記したに過ぎない。

附記　本稿を草するについて、研究の誘掖と現地調査の便道を賜つた慶大松本信廣教授並に草稿について種々御教示をいたゞいた高村象平教授を初め、史料を提供して下さつた片貝町の鈴木九一・小川誠、鳴濱村の作田紋平の諸氏、調査の便宜を計つていたゞいた片貝町役場及び採訪謄寫史料の借覽を許して下さつた常民文化研究所に、深い感謝をさゝげる。また史料の採訪調査には、清水潤三・安澤秀一・藤村潤一郎・大石怜子・鶴岡實枝子の諸氏に御援助を願つた。こゝに感謝の微意を表はさせていたゞく。
尙本稿は、昭和二十九年十一月の社會經濟史學會例會報告「九十九里濱に於ける漁業の發展と在鄕商人」に加筆訂正したものである。

（昭和三十年三月二十四日稿）

「續福澤全集」所收福澤書翰一通の發信年の確認

「續福澤全集」第六卷（七六〇―七六二頁）所收の福澤書翰

九四五　酒井良明宛　明治十二年？十一月十三日付

の發信年は一應疑問符を附してあるけれども、これはたしかに「明治十二年」に間違いないと思われる。

そのわけはほかでもない。右の文中に、千葉縣の那珂通世がこんど歸京して東京女子師範に奉職の筈だと報じられている箇所があるのだが、那珂通世はその傳記（「那珂通世遺書」の卷初に三宅米吉述の傳記を收む）によると、

明治十二年十一月通世君は東京女子師範學校訓導兼幹事の任を囑せられて千葉より移れり。（同書、「第三章東京女子師範學校長」の項の冒頭、一七頁）

とあり、卽ち明治十二年十一月那珂は千葉師範學校長兼千葉女子師範、千葉中學總理から東京女子師範學校に轉任していて、この書翰の記事と符合するのである。

なお、那珂はその後、明治十四年七月文部省直轄諸學校職員官制の改正に伴ない同校校長に任ぜられ、同十八年八月同校が東京師範學校に合併して、同女子部となつたときまで、その職についていたことが「東京女子高等師範學校六十年史」等でもうかがえる。

（會田　倉吉）